

平成30年（2018年）9月定例議会本会議（10月9日）

予算決算常任委員長報告（議案）

ただいま議題となりました議案第115号から第126号までの以上12件につきまして、予算決算常任委員会における審査の経過と結果を報告します。

委員会は、9月20日会議を開き、議案第115号から第124号までについて、会計管理者から総括説明を、代表監査委員から審査意見を聴取して質疑を行いました。

主な質疑を申し上げますと、一般会計から他会計への繰出金を縮減しすぎた場合に財政の安定性や健全性が損なわれる可能性に対する所見、基準外繰入金を見直す場合における具体案、一般会計から他会計への繰出金の削減目標数値についてであります。

その後、議案第115号から第126号までについて、担当する各分科会に付託議案を送付することを決定し、9月25日、26日、27日、28日及び10月1日の分科会において、詳細な審査を行った後、10月4日に再度会議を開き、各分科会委員長の報告を聴取しました。

次いで、総括質疑及び討論はなく、採決の結果、議案第117号、第119号及び第120号の以上3件は全会一致で、議案第115号、第116号、

第118号、第121号及び第124号の以上5件は賛成多数で、いずれも認定すべきものと、議案第123号は全会一致で、議案第122号は賛成多数で、いずれも原案どおり可決及び認定すべきものと、議案第125号及び第126号の以上2件は全会一致で原案どおり可決すべきものとそれぞれ決定しました。

以上で報告を終わります。